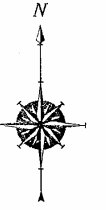


10. 地区別見直し計画

四倉地区



3・6・163新町戸田線

本路線の終点側には、一部車の通行不能区間があるが、(主)小野四倉線の整備に伴い拡幅整備の必要性が著しく低下したことから、代替機能を有する(主)小野四倉線にルートを変更し、併せて、終点の位置を(都)栗木作小山田線まで延伸する。

3・6・162志津線

国道6号の4車線拡幅整備に伴い、本路線の利用は生活交通が主となり、交通処理にも支障が無く、整備の必要性が低下したことから、全線廃止し、現道は地区内道路として機能させる。

3・6・164駅前蜷川第2号線






将来交通量が減少し、幹線道路としての整備の必要性が低下したこと、また、国道6号へのアクセスは並行する現道(市道東三丁目8号線)で円滑に処理できることから、終点側の一部を廃止し、終点の位置を(都)原田地引線に変更する。

3・6・165原田地引線

国道6号から四倉市街地へのアクセス交通は、(都)駅前蜷川1号線(県道四倉停車場線)で円滑に処理され、国道6号からのアクセス路線としての整備の必要性が低下したことから、起点側の一部を廃止し、起点の位置を(都)駅前蜷川1号線に変更する。

3・5・129上仁井田戸田線

JR常磐線東西を連絡し、主に梅ヶ丘団地のアクセス交通を処理すること、また、終点側の一部は市街化調整区域で土地利用誘導の必要性が無いことから廃止し、終点の位置を市道との交差点に変更する。

凡 例	
	見直し対象外
	廃止区間
	変更区間
	変更予定区間
	継続区間

